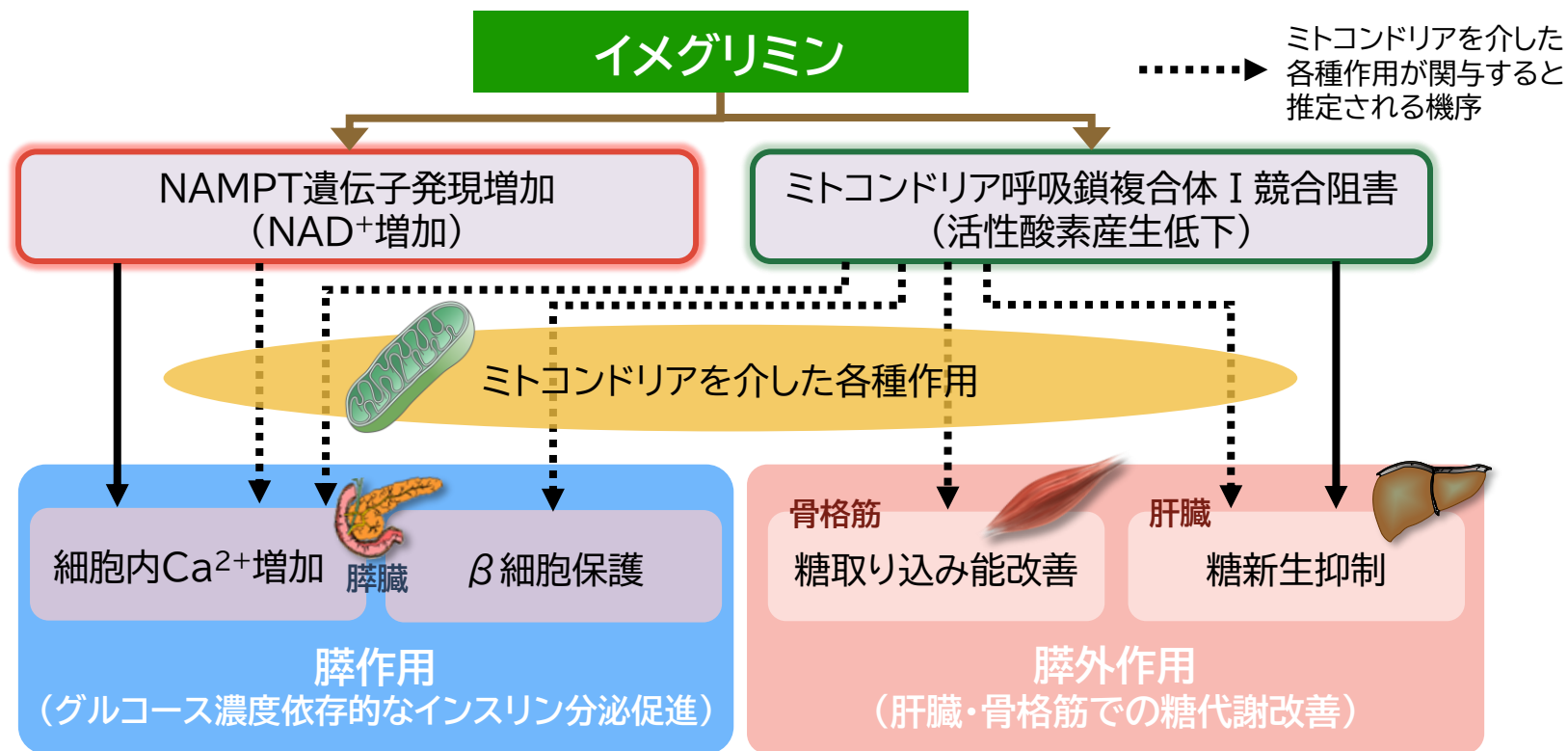


イメグリミンの作用機序(推定)

- イメグリミンは、NAMPT(NAD⁺合成系酵素)遺伝子、ミトコンドリア呼吸鎖複合体 I への作用を介して、膵β細胞におけるグルコース濃度依存的なインスリン分泌を促す膵作用と、肝臓・骨格筋での糖代謝を改善する膵外作用(糖新生抑制・糖取り込み能改善)という2つのメカニズムで血糖降下を示します。
- これらの作用にはミトコンドリアを介した各種作用が関係していると推定されます。



※:NAMPT(nicotinamide phosphoribosyltransferase)